



第 2 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所
 霊 亀 山 九 島 禅 院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

手ツップ 枕銭とお念仏

「の、に、く、ち、の、な、い、生、活、を」

昨年未より、愚妻とヨーロッパへ修学旅行に出掛けてきました。この三月三十一日付けで十六年の教師生活にさようならを告げるため、定年後のフルムーン?と洒落たのです。

生まれて初めての海外旅行でしたので、本当に感激しました。ロンドン・パリ・ジュネーブ・ローマ、駆け足の旅行でしたが日本との差異、習慣の違いにともない、いろいろと驚き、とりわけ、水道の水が飲めないことや食事の量の多さ、食事時間の長さ、両替など驚くことばかりでしたが、特に枕銭(チップ)の習慣には考えさせられました。枕銭(チップ)を手掛かりに仏教の考え、仏教のあり方を考えてみたいと思います。

にもあります。「関西のお客さんは部屋に案内された時に心づけを渡されますが、関東のお客さんは帰り際に渡されます」とは、以前泊まった旅館の仲居さんに聞いた話です。

欧米諸国では、枕銭をはじめとして、トイレまでサービスを受けた謝礼として、支払いとは別に心づけを渡す習慣になっています。心づけの額は各国で異なっていますが、大体、トイレのチップは小銭程度、レストラン・タクシーでは、料金の十パーセント、枕銭(ピローマネー)は一泊につき、日本円で百円程度だそうです。とりわけ、トイレのチップには閉口しました。トイレに行くたびに小銭を準備しなければならぬのは困ったものです。でも、どのトイレも



掃除がゆきとどいており、日本のように落書きもなく、清潔で気持ちよく用が足せました。

さて、枕銭(ピローマネー)とは、朝、メイドのためにを枕(ピロー)の下に置いておくチップのことです。考えてみればお世話になるなら、最初の日に置いておくべきで、後からチップをあげても効果も期待できないし、もううほうだってサービスに差がつけられないのに。一生懸命ベッド・メイクをして、枕銭がなければ、腹もたつのではないかなど。つまらぬことを考えました。

日本においても、特に関西人の心づけは、そうした考えでな

